

《Future studio 大名+ 代表》下野 弘樹さん

価値観の同じビル管理会社が 自由な活動を応援してくれる。



STYLE

03 「ステップアップオフィスSTYLE」▶ 天神パークビル編

仲間とともに様々なアイデアを持ち寄り、具現化する「Future studio 大名+」。その拠点は都心に構えるオフィスの一室。スペースRデザインとの信頼関係があったからこそ実現できたユニークなその空間とは。

様々な夢のアイデアが書かれたたくさんの張り紙に、付箋で描かれたゲームキャラクター。テーブルには駐輪場の模型らしきものも。一目見ただけではここが何をやる場所かは分からない、けれども楽しげな雰囲気はひしひしと伝わってくる「Future studio 大名+」。都心のオフィスビル・天神パークビルにこれだけ自由な空間があるなんて、それだけでちょっとワクワクする。

「ここは2年前にスタートした会員制コミュニティスペースです。とはいえ、ここで仕事をするわけではなく、本職とは別に暮らしや仕事の自由度、自立度を高めようと活動する人たちが集まり、個々のアイデアを実現するための場。部室とか研究室のような空間なんです」と代表の下野さん。もともとスペースRデザインが管理していた別のマンションにシェアオフィスを構えており、その時の経験で「場」の重要性に気づいたという。

「空間は人がいなければただの箱だけど、こうしていろんなひとがテーマを持って集まり、アイデアを出し合うと、そこには目に見えないエネルギーが生まれる。何かが起こるかもしれないと感じられる空間へと変わってい

く。場というハードの力があってこそ、アイデアというソフトの力も単なるブレインストーミングに終わらず、実現化しやすくなると感じています」

天神パークビルへの移転には、管理会社であるスペースRデザインの存在も大きかったと下野さんは言う。

「ここには職種を越えて様々なジャンルの人が集まります。ブレインストーミングをしたり、アイデアを実現するワークショップを行ったり、活動内容もフレキシブル。一般的な都心のオフィスビルだと賃貸料も高く、活動しづらいんですね。でも、天神パークビルは僕らと同じ価値観を持ち、僕らの活動を理解し



てくれる管理会社の存在があったからこそ、ぜひ借りたかった。信頼できる会社が運営している物件。それは活動そのものを充実させる上でも大事な要素です」

なお、天神パークビルはマンションで起業した人が次のビジネスステップを踏み出せるよう、6.4坪という狭い区画で安くオフィスを構えられる「ステップアップオフィス」を設けている。「天神パークビルに、僕らのような新しい働き方、活動の仕方を実験している人がたくさん集まると、またビル全体に面白いエネルギーが生まれる気がします。こうして都心のオフィスが開かれていけば、街づくりの発想ももっと豊かになっていくんじゃないかな」と下野さん。

人と人とのつながりが濃い福岡だからこそ、

スモールオフィスから新しいムーブメントが生まれる可能性は十分に考えられる。ここ天神パークビルに自分の世界観を持つ人たちのシゴトバが増えると、都心のオフィスビルのあり方ももっと自由に、オープンに変わっていくだろう。

「ステップアップオフィスSTYLE」

物件名 天神パークビル

こんな方におすすめ!

都市のオフィスに拠点を構え
ステップアップを目指している人

物件の特徴

- 福岡の都心中心部にあり
- スタートアップに嬉しい小規模区画
- 必要最小限の家具、設備を完備
- デザイン性のあるオフィス空間
- 共有スペースや設備が充実

天神パークビルの物件詳細はP6・7へ!

他にも個性豊かな“シゴトバ”がいっぱい!!

入居者さん × スペースRデザインで企画をした“シゴトバ”いろいろ



【リノベマンションSTYLE】法務会館
“ナガハマデザインスタジオ”

本棚を間仕切りに打合せ空間を確保。

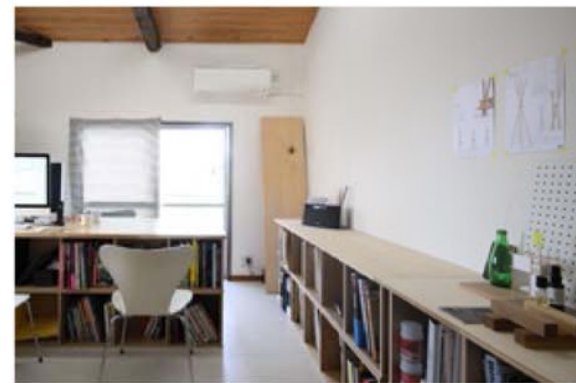
板野さん・川上さん2名の共同主宰による建築設計事務所「ナガハマデザインスタジオ」さんのオフィス。賃貸マンションの1室をリノベーション。デザインを決める過程で素材や仕上げ、色などお二人のイメージを実際の物件に当てはめカタチにしていき、塗装も一緒に行った。模型や資料を広げて打ち合わせやディスカッションを行えるスペースには大容量の本棚を設置。間仕切りとしての役割も果たしている。



【リノベマンションSTYLE】簡ビル
“田畑写真事務所”

60㎡の住空間をイメージ広がるスタジオに。

住居として使われていた博多駅近くのビル1フロア(約60㎡)をスケルトンにし、写真スタジオ兼事務所として再生。壁やパーテーションはスペースRデザインのスタッフとともに塗装。その後代表の田畑さんご自身で細かい塗装の調整を行った。撮影は外で行うことが多いため、こちらはイメージ作りや試し撮りの場として活用中。



【1棟コンバージョンSTYLE】桜坂山ノ手荘
“ands design studio”

気持ちがいい踊り場でシゴトバづくり展開中。

2階の踊り場を活用したオフィス。桜坂山ノ手荘の見学中に代表の江上さんとの話の中で「ここ(踊り場)使えるのでは?」と実現した企画。シゴトバに求めるものは「気持ちがいい空間」。そのため凝った装飾・仕上げなどはせず自然のままに留めておき、元からあった雰囲気や要素を活かした空間づくりを楽しんでいる。